

# 1 令和6年度 教育目標

- (1) 自ら進んで物事を行い、自己の判断に責任をもてる心を育てる。
- (2) 人の立場を理解し、互いに協力し合う思いやりの心を育てる。
- (3) 真実を誠実に求めていく心を育てる。

# 2 令和6年度 努力点

- (1) テーマ

**社会人基礎力の育成**

～ 自ら選択し、前に踏み出す力 ～

- (2) 努力目標

設定した目標に向かって、様々な見方・考え方を働かせ、方法を選択して学びを進めることができる生徒を育成する。そのために、生徒が自分で考えて学び方を自己選択できる環境と場面を多く設定する。試行錯誤を繰り返す、前進し続けようとする中で、自己の生き方を自ら選択する力を育み、社会人基礎力を高める。

- (3) 努力点の推進

○ 社会人基礎力育成の手だて

- ◎ 生徒が将来の自分の姿を想像する機会を得るために、様々な面からキャリア教育を押し進め、興味がある事柄を深く学ぼうとする生徒の支援をする。
  - ・ 総合的な学習の時間に於いて、創意工夫した探究的な学習に取り組ませる。
  - ・ 各教科の学習に於いて、教員は生徒の思考力・判断力・表現力を育む課題を設定し、生徒が自分に合ったペースや方法・内容を自ら選び工夫して学習を進めることができるよう、生徒の学びに伴走する。
  - ・ 自分だけでは解決できない課題と向き合う生徒が、他の生徒の力を借りたり、反対に分かることや得意なことは伝え教えたりする活動を、生徒同士が相互に行うことができる場面の設定や雰囲気作りに努める。
  - ・ 他の学校や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用の工夫を行う。

○ 社会人基礎力の育成により目指す生徒の姿

シンキング

目標を達成するために計画を自分で考え立案する。

チームワーク

人と自分の関係をよく理解し、互いに力の貸し借りを  
をする。

アクション

設定した目標に向かって行動する。

設定した目標に向かって、学びの方法を生徒が選択し、いつまでにどんなことをすべきか考え（シンキング）、仲間と協働して（チームワーク）学びを進めていく（アクション）。

学びを振り返り、結果や課程を見直して次の課題を見つける。学び方を再考し、計画を練り直して学びを深める活動を繰り返すことで社会人としての基礎的な力を養う。